



がんばれ元気



森下章朗さん(12)  
|| 鹿谷町北西保 ||

走るのが楽しみ!

「勝山Jr.ランナーズ」に所属する森下さんは、鹿谷小学校が誇る長距離ランナーです。校内マラソンでは、1年生から6年生までの間、ほとんど優勝するほどの力をもっています。市内小学校連合体育大会にも好成績を出しました。走っているときは、常にタイムを縮めることを意識した積極的なレースをするよう心がけているそうです。

思い出に残る大会は、三国で開催された駅伝競走と勝山のクロカンマラソンとのこと。「駅伝は、みんなとチームを組んで走れたのが、とても楽しかったです。また、クロカンマラソンは、森の中の上り下りを、気持ち良く楽しく走れました」とうれしそうに話してくれました。

森下さんの好きな教科は、図工と家庭科。昨年の秋に芦原青年の家で実施された3泊4日の宿泊学習で、カヌー体験をしたときの絵が入賞しました。家では、お母さんのお料理の手伝いもする優しく、しっかりとした好印象の森下さんでした。

青春 ing



龍田文佳さん(15) || 村岡町栃神谷 ||

サービス・フォー・ピース

国際ボランティア作文コンクールにおいて、「国際協力」と題した龍田さんの作品が、文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

この作文では、龍田さんのお兄さんの所属している「中学生のボランティアサークル」が、文房具などを販売したお金を、生活が苦しいウガンダの国に送ったことを題材にしています。

新聞で受賞を知ったときには、ご両親が「自分の訴えが認められて良かったね」と受賞を祝してく

れました。

龍田さんは、「相手のことを思い、人のために生きること」の実践を大事にしたいと考え、「サービス・フォー・ピース(幸せのための奉仕)」というこぼりが好きだそうです。

「将来は、通訳など国際的な架け橋となるような仕事をしたいです。そして、ボランティア活動は、これからも続けていきたいです」と落ち着いた口調で答えてくれた龍田さんでした。

出会い ふれあい

勝山初のNPO法人としてがんばります

NPO法人「山の自然を愛する会」

昨年の熊襲動により野生動物が多数駆除されたのを受け、人間と野生動物が共存する住みよい環境と自然をつくるための自然保護活動を推進することを目的として、今年の7月に設立された「山の自然を愛する会」。

そして同会は、10月に、勝山では初めてのNPO法に基づいた法人として認証を受けました。

日本におけるNPOとは、教育、福祉、環境保全などの分野において、行

政では対応が難しい多様化した社会問題やニーズに対して、市民が自発的にその受け皿となって非営利活動をする団体や組織をいいます。そして、行政とNPOとの協働による住民参加のまちづくりが、今、期待されているところです。

NPO法人「山の自然を愛する会」(理事長 水上 満さん)では、10月22日に、市緑化推進委員会が企画した「交流の森づくり」を手伝いました。

親子でピッカピカッ! ☆

齋藤珠樹さん・健人さん || 元町2丁目 ||

11月5日に開かれた「平成17年度健康な歯をつくる県民のつどい」第13回福井県歯科保健大会」で歯の健康親子として優秀賞を受賞した齋藤珠樹さん、健人さんの親子。

平成16年度に福井県内で3歳児健康診査を受診した7319名の中から、歯および口腔が健康であった35組の親子が選ばれ、齋藤さん親子は、勝山市の代表として福井県歯科医師会館で最終審査を受け、最優秀賞1組、優秀賞7組の中に選ばれました。

「私は、歯の健康に特に気を使っているというわけではないんですよ。」と、照れ笑いをするお母さん

の珠樹さん。それでも毎日ごろの歯磨きについて聞くと、毎朝晩、硬めと軟らかめの2本の歯ブラシを使い分けて磨いているそうで、普段の何げない習慣が歯の健康につながっているようです。

また、「チョコレートとお母さんの作る卵焼きが大好き!」と元気に話す健人さんも、食べた後は必ず歯磨きを自分でするそうで、珠樹さんが仕上げのブラッシングをしています。共働きで、平日は接する時間がなかなか取れない親子の小さなスキップにもなっているようです。

すてきに人生



これは、市内小学校の「緑の少年団」の子どもたちが、毎年20アールずつ10年間植樹をし、自然とふれあい、自然の大切さを理解してもらおうと、将来の奥越の自然を守るという趣旨で行われたものです。

また、「山の自然を愛する会」では、将来の森づくりのために、今後子どもたちに提供するためのどんぐりの苗作り、登山道の整備、登山のルールを守ってもらうための立看板の設置などの活動を予定しており、自然保全をアピールしていくとのことです。さらに、県内外のNPO団体とも連携した活動や、活動内容を専門的に進めるために

委員会を設けることも考えています。

当初11名だった会員も現在では個人25名、1団体となり、今後は、市内外の個人や企業の参加を募ることで活動の幅を広げ、会のさらなる発展をめざそうと考えています。このため、「山の自然や野生動物に興味のあるかた、知識をお持ちのかたは、ぜひ会員になってほしい」と事務局の木下友宏さん(連絡先: 勝山市下高島第11号1番地 2 電話88-1301)は言います。「自然を大切にしたい、後世に残してやりたい」という意思があれば、どなたでも参加できます」とのことです。